

2021年1月1日

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
京都部の皆様

2020-2021 年度
第25期京都部部长 中村 隆司

年始のご挨拶

在京ワイズメンズクラブの皆様、昨年は何かとお世話になり有難う御座いました。今年も一年どうぞ宜しくお願い致します。
そして新型コロナウイルスの影響でお亡くなりになられた方や、被害を受けておられる皆様にお見舞い申し上げますと共に、最前線でご活躍させている医療従事者等の皆様に感謝申し上げます。

さて前期の島田部長からバトンを受け継いで早くも半年が過ぎ、上半期があっという間に終わってしまいましたが、皆様にはワイズ活動にご尽力を頂きまして有難う御座いました。

コロナ禍の中でのスタートという事で、事業等への影響が予測出来た為、事前に主だった活動の中止や自粛を発表しておりましたので想定通りと言えば想定通りですが、やはり部会やワイズデー、各事業懇談会等が開催出来ず、思っていた活動が出来なかった事は非常に残念であります。

各クラブの皆様も、周年例会の延期や中止、例会の長期中止等かなり苦労をされた事と思います。ただそのような中でも、Yサ・ユース事業に関しましては各クラブの皆様にはコロナ禍に注意して頂きながら毎回多数ご参加頂き、YMCAの事業のサポートを主とし、概ね活動は実施する事が出来たと思います。

そして地域奉仕・環境事業に関しましては、各クラブがアイデアを出し、知恵を絞り、独自にされておられる児童養護施設や障がい者施設、子供食堂、病院関係、寺社仏閣、サポート犬や愛護センター等の動物に関わる施設のサポート、学童野球大会の開催、清掃活動等を積極的に実施して頂きました。

またEMC事業に関しましては、この様な社会情勢の中にありながら各クラブが積極的に新入会メンバーを獲得され、素晴らしい入会式をされておられました。終盤に退会者が数名おられましたが、何とか純増12名という結果を残して頂く事が出来ました。

残念ながら国際・交流に関しましては、ことごとく合同例会等が中止になり、クラブの垣根を越えての親睦交流は出来ませんでした。コロナ禍の恩恵ともいえるオンラインを利用したのIBC、DBCの交流は盛んに行われました。

そしてメネット事業に関しましては、コロナ禍の中ではメネットさんやコメットさんに積極的に例会等の参加をお願いする事も出来ず、主だった活動は出来ない状況でありました。

PR事業に関しましてはやはり活動が難しい状況で、ホームページに関わる活動程度となりましたが、皆様におかれましては各事業において色々な制約がありながらも出来る限りの取り組みを行って頂きました。

そして部長公式訪問も中止となり、代わりにビデオレターを部で作成し各クラブへ配信させて頂きましたが、例会開催が可能なクラブに関しましては部長非公式訪問という形で伺わせて頂き、

親睦交流の時間を持つ事が出来ました事は本当に嬉しい限りで御座います。

京都部の皆様、大変な状況のなか半年間本当に有難う御座いました、心から感謝申し上げます。

さて下半期ですが、コロナ禍も落ち着きそれなりに活動が出来るかと思っておりましたが、2回目の緊急事態宣言でまたまたこの先どうなる事が分からなくなってきました。

しかし意気消沈ばかりはしてられません。出来ない事を挙げればきりが無く、出来る事を考えて行動する。そしてなぜこのような状況になったのかと問いかける事はいくらでも出来ますが、でもそこからは何も生まれません。この状況であなたはどうされますか、と問いかけられている事にお気付き頂きたいと思います。

勿論メンバー一人ひとりの命と健康を最優先にして頂き、決して無理はなさらなくて頂きたいのですが、苦境に陥りながらも何とか工夫をし、今できる事を模索しながら活動を行って頂きたいと思います。

これからは良質な非常識、まさしくニューノーマルな取組みが必要になってくると思います。そして目配り、気配り、心配りを忘れず、誰ひとり取り残さない、誰も置き去りにしない気持ちを大切にしながらご尽力頂きたいと思います。

これからの半年間も、皆様が豊かなワイズライフを送るためのお手伝いをさせて頂きたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

最後になりますが、次々期部長の件、本来であれば秋頃に立候補並びに推薦を募集させて頂くのですが、私が二期連続で部長をさせて頂く事をご承認頂き、その結果既に決まっておりました京都キャピタルクラブの石倉次期部長が、一期先延ばしになってしまう事をご了承下さり、引き続き次期における次期部長をお引き受け下さいましたので案内はさせて頂きませんでした。その旨どうぞご理解ご了承頂けますようお願い申し上げます。

そして下半期の事業であった京都部CSチャリティーボウリング大会ですが、残念ながら中止とさせて頂いた事は既に発表させて頂いておりますが、このコロナ禍の状況を考えると、皆様の命と健康を一番に考える上では致し方ない決断であったと思っております。楽しみにして下さっていた皆様には本当に申し訳御座いませませんが、どうかこの心境を御汲み取り頂きたいと思います。またその際に企画からご準備まで色々と御尽力頂きました京都みやびクラブの皆様には本当に心から御礼申し上げます。有難う御座いました。

最後に一言、「楽しくなければワイズじゃない！」下半期もどうぞ宜しくお願い致します。